

拡張 DM エディタ バージョン 7.0.14 更新記録

2013/04/05
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. インデックスファイル

メニュー「ファイル」の「インデックスファイル」に「DM の要素の実データ区分が、インデックスファイルの座標次元区分と矛盾する」を追加しました。

インデックスファイル

開く...

座標系

計画機関名

西暦年号

作業規程名

保存時に参照するDMデータ

DMデータファイルを選択して情報取得

開いているDMデータから情報取得

上記項目のみ変更する

保存...

チェック時に参照するDMデータ

DMデータファイルを選択してチェック

開いているDMデータをチェック

チェック項目

DMデータファイルの図郭識別番号がインデックスファイルにない

DMデータファイルの要素で、インデックスファイルの使用データタイプにない

インデックスファイルの図郭識別番号が指定されたDMデータファイルにない

インデックスファイルの使用データタイプが指定されたDMデータにない

DMの要素の実データ区分が、インデックスファイルの座標次元区分と矛盾する

チェック...

DMデータファイルを選択してCSV保存...

閉じる

- DM の要素の実データ区分が、インデックスファイルの座標次元区分と矛盾する次のケースをリストアップします。
 - DM の「実データ区分」が 2 で、インデックスファイルの座標次元区分が 0, 2 以外
 - DM の「実データ区分」が 3 で、インデックスファイルの座標次元区分が 0, 3 以外

表示項目と項目数	OK	OK以外	OKのみ
すべて	1111	1111	0

(201) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 31, 30,400
(202) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 3, 36,600
(203) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 2, 18,900
(204) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 0, 22,800
(205) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 0, 20,500
(206) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 2, 28,400
(207) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 3, 8,800
(208) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 3, 10,800
(209) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 2, 10,300
(210) 08.dm 実データ区分=2ですが、インデックスファイルの座標次元区分=3です	分類コード: 7312(図化機測定による標高点) [3次元要素]	(-) 68, 27,400

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 断面

2. 要素リストアップ

メニュー「ツール」の「要素リストアップ」に条件を追加しました。

要素リストアップ

データタイプ

E1面 E2線 E3円 E4円弧
 E5点 E6方向 E7注記 E8属性

分類コード

すべての分類コード
 分類コードを選択 (1)
 分類コードを選択 (2)
 分類コードを選択 (3)

2次元、3次元

2次元と3次元すべて
 3次元
 3次元で標高値が全て0.0
 3次元で標高値が-999より高い
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
 3次元で標高値が-999以下
 2次元
 3次元の標高値
 m以上 m以下

図形区分

すべての図形区分
 非区分(0)
 射影部の上端(11)
 射影部の下端(12)
 表現補助データ(99)
 表現補助データ(99)以外
 0,11,12,99以外
 定義以外
 指定

間断区分

すべての間断区分
 間断区分=0
 間断区分=1
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない
 2点
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない
 長さを指定(2D)
 長さを指定(3D)
長さの最小値 m
長さの最大値 m

面積は問わない
 面積を指定(2D)
面積 m²未満

その他の条件(1)

精度区分(上位桁)
 精度区分(下位桁)
 取得年月
 更新の取得年月
 消去年月

その他の条件(2)

注記の数値の小数点以下桁数が 1
 取得年月 以上 以下
 消去年月が空白か0以外
 要素識別番号=
 異なるZ値がある(水平ではない)面・線
 注記が縦書き

処理

リストアップ(順次)
 リストアップ(長い方から)
 リストアップ(高い方から)
 該当要素を削除する
 分類コードを変更する
 注記の線号を変更する
 間断区分を0にする
 間断区分を1にする
 図形区分を変更する
 面(E1)を線(E2)にする
 点(E5)を方向(E6)にする
 方向(E6)を点(E5)にする
 円(E3)を点(E5)にする
 点列の順序を反転する
 標高値を10分の1にする
 標高値を10倍にする
 標高注記(E7)を3次元化する
 標高値=-999mで3次元化する
 2次元化する

レポートパネル出力

その他の条件(1)

精度区分(上位桁)
 精度区分(下位桁)
 取得年月
 更新の取得年月
 消去年月